

ふれあいニュース 2019新年号

新年あけましておめでとうございます。

平成最後の大晦日は初めて孫たちと地元の氏神様に後歩でお参りに行きました。

参拝者の方とカウントダウンで新年を迎えお参りの痕、甘酒と豚汁を頂きました。

とても美味しかったです。

昨年四月から開始になった訪問型サービスAの管理責任者に命ぜられ、初めて学ぶ生活支援のテキストの勉強会、契約者の見直しと作成、利用者とケアワーカーの名簿作成等、準備万端整え、態勢を取っております。

この事業は市町村の裁量で実施されるのですが、大府市では介護保険の申込が非該当となった場合に総合事業としてシルバーセンター、大府市社協等の有償ボランティアの活躍で対応しているそうです。

さわやか愛知もその一翼を担うべく、いち早く取り組んできました。

その最先端で管理者として活動する重責とともにやりがいを感じています。

一年の計は元旦にありと言う諺がありますが、私は今年も七回目の富士

登山を孫と計画しています。

毎日一万歩の散歩と鈴鹿の山登りで体を鍛えて望みたいと思っています。

寒さも一段と厳しくなります。皆様も風邪などひかない様にお互い頑張りましょう。

訪問型サービスA管理責任者 行武善克



養成教育部から 講座のおしらせ

・介護職員初任者研修 1月コース ♥ケアの合間に無料で聴講しませんか(未開)

ふれあい切符の話 第4回

「地域通貨」を考えることは「地域のことを自分の手で何とかしたい」と考えることです。

ふれあい切符は、さわやか愛知の理念のもとに集まった「やさしさ」や「ありがとう」のこころをかたちにして、ゆたかな地域社会を創りだしていくための一つの道具です。

新しい年、新しい時代を迎えるにあたって、さわやか愛知の基本理念に立ち帰ることが求められています。

今年は、私たちの力を活かす有効な道を、強く進んでいく糧を選びとる転換点となる大切な時期です。

「自分たちの手でできることは何か」もう一度、さわやか愛知を選んだ時の自分に問いかけてみませんか。

「ゴーラック∞愛」

12月23日、日進市民会館での演技発表会&ダンスパーティーに参加しました。
サークルの皆さんが「ルンバ」1級のステップに挑戦。緊張してステップを間違えたりしましたが、この日のために練習を続けてきました。
とても楽しい時間を過ごしました。
来年は、デイの慰問を予定しており、練習の成果を皆さんに観ていただきたいです。



さわやか愛知のクラブ活動



編集後記

2019年ですね～～～

平成が終って消費税が上がって東京オリンピックやら大阪万博やら…ああ～時代を感じますね～～～
ともあれ、本年もよろしく願いいたします。(N)

今月の
スポットライト

さわやか愛知とともに歩んでくださるケアワーカーの
一人ひとりを ご紹介していくコーナーです。

ゲストは 福与 登 さん

御年91歳。

九人兄弟の六男で、長寿の家系だとのこと。

83歳の奥様と二人でさわやかレストランにご登場。

ご本人は、昨年で免許証を返納され、今は奥様が専用運転手だが、市の敬老パスで公共交通機関を利用して、自分のペースでどこへでも出かけられる。

郊外に持つ畑にもどんどん通って、今でも大きな収穫を得ておられるとのこと。

「いい運動になるんだよ。子供の頃から鍬を使っていたからね。」と、終始明るい笑顔で話される。

この日も、特技の菊づくりの作品の一つを、お土産にと一鉢お持ちくださった。菊の講習会には、今も参加され、名古屋城の菊祭にも出展されている。

「以前の体重は60kgだったが、最近はずっと55kgで変わらず、体調もすこぶる良い。すごく元気！」
「椎間板ヘルニアを発症したときは、トイレも匍匐前進でという状態で、本当にまいったんだ～。一か月も入院して、“脅されて”、60歳で禁煙だよ～。」

どの話題を話されても、穏やかで朗らかで、人柄の良さが滲み出て、その場を和ませてくださる。昔からの顔なじみのヘルパーさん達も、いつの間にか、インタビューのテーブルに集まってきて、気がつけば、思い出話が花盛りの賑やかな一角になっていた。

さわやか愛知との出会いは、奥様の友人からの情報だった。
「初日、さわやか愛知に来たけど、事務所の入り口がわからないから理事長の自宅の玄関から入っちゃって。」と顔を見合わせて、声をあげて笑いあう仲良しご夫妻である。

「印象深いのは、中日新聞の記者の利用者を、自宅から本社まで送迎するというたすけあいの会の活動だね。たまたま自宅が近かったからなんだが、あれは良い思い出になっているね。」

たくさんの方の話、当時の活動仲間の話も、細かいことまで覚えておられ、丁寧に話して下さる。
「ヘルパーのFさんは草刈が上手であったなあ。農作業に後の鎌を砥石で研いで片付ける、という終了後の手入れは今でもしているが、Fさんに倣ったことなんだ。」

北山老人憩の家の当番も積極的に担っておられた。とりわけ、環境整備が得意で、緑化関係は一手に引き受けてくださっていた。

このインタビューの後、「今の憩の家の様子を見たい」と、奥様の運転する車で“視察”へと出かけられた。行動力とフットワークの軽さは今も健在である。

向上心も旺盛で、時間預託の積立金で、さわやか愛知のパソコン教室に参加された。奥様の分も奢ってご夫妻で未知の分野に挑戦された。「愛妻家？」と問いかけると、「へへへ～」と照れて、破顔一笑された。

活動をご一緒していた頃は、とにかく働き者で、依頼したことは確実に実行して下さる、頼もしい先輩でした。久々にお会いした先輩は、お話を伺いながら、お顔を見ているだけで、ほっこりとした気持ちになってくる不思議な魅力の持ち主なのでした。

次回は 森田定夫 さんです



さわやかデイサービス と さわやかタウン



レストランスタッフ&デイサービスご利用者様と
同でたくさん調理を楽しみました。
芋きんとん、クリスマスケーキ、クロカンブッシュ、
花餅作りや、たこ焼きなどなど

やっぱり食欲は秋から冬に変わっても変わりませ
んね
自分で作る、できることを楽しむ
またタウン中にあま〜い香りや、香ばしい香りが漂
うことでとても幸せな気分になります

まだまだ、皆さんの
「やりたい」「挑戦したい」「たのしみたい」
を叶えていきます！



チラシ寿司のランチ



利用者様に大人気のお寿司。
12月はチラシ寿司でした。



クリスマスのオヤツは調理レク
ベビーシュークリームでツリー作りました。

クリスマスランチ

